

UCLA レイバーセンター の現在

日本の労働運動のリーダー、労働研究者へ 2023年3月



カレン・バス・ロサンゼルスの新市長



カレン・バスの勝利は労働の勝利

- カレンはロサンゼルス労働運動の支持を得て当選
- 国内市長選史上最高額の選挙費のかかった選挙戦に投じた費用は相手の11分の1
- ロサンゼルス241年の歴史上初の女性市長、そして初の黒人女性
- ロサンゼルスで経済的・人種的正義の周りに労働・女性・有色人種コミュニティ、若者の新たな連合体を形成するチャンス
- ロサンゼルス4万人のホームレスに着目。経済格差、人種的正義、生活賃金に足る仕事、組合組織化、コミュニティオルグを結びつける

ローラ・スモールウッド・クエバス上院議員



ローラの勝利は労働の勝利

- 15年間UCLALレイバーセンターに勤務
- ロサンゼルス黒人ワーカーセンターを創設。リバーセンター・サンディエゴ含む17の黒人ワーカーセンターの発足のきっかけを作る。
- 建設組合と黒人コミュニティとの連合体を作り、建設プロジェクトの協約や、地域内採用方針を実現
- 黒人の雇用の危機に対応すべく労働者の教育研修を推進
- カリフォルニア州上院唯一の黒人女性

イヴォンヌ・ウィーラー: ロサンゼルス郡労働組合評議会議長



イヴォンヌの作る歴史

- イヴォンヌはロサンゼルス郡労働組合評議会初の黒人女性議長
- 労働側が一致団結し全会一致で選出
- 労働運動に人生を捧げ、CWA、AFSCME、AFGE、AFL-CIOに勤務
- UCLALレイバーセンターと協力して第1回評議会職員向け戦略的計画合宿を実施

上昇気流の労働側

- 労働側の評判はここ50年で最高
- 全国で新たな組織化: アマゾン、スタバ、ファストフード、ギグワーカー、高等教育
- 若年労働者と有色労働者が多くの新たな組織化活動を主導
- 労働は11月選挙戦で予想された「レッドウェーブ」を押し戻すのに一役買い、民主党は上院で多数を維持
- ロサンゼルス労働運動が全国の労働運動の中心地であり続ける

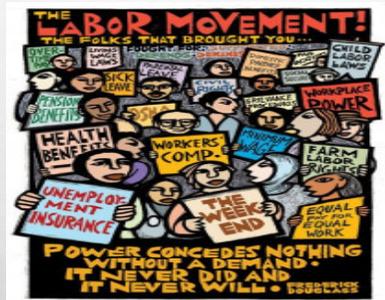
カリフォルニア州大学の院生労働者4.8万人がストライキで勝利



労働の勝利、高等教育の勝利

- 高等教育史上最大のストライキ
- 若年労働者の大部分にとって初めての組合、初めてのストライキ
- 新世代の労働者の間の組合への意識を強める
- UCキャンパス全てが動員、前代未聞の連帯
- 労働協約で大勝利-46%の賃上げ
- 全国で組織化する高等教育と、カリフォルニアの労働運動に前向きな空気

レイバーセンターの運動が拡大



年間1300万ドルの予算増加

- 労働教育100年の歴史上、最大のレイバーセンターの拡大
- 新たに6つのレイバーセンターが設立: UCデイビス、UCサンタクルス、UCアーバイン、UCリバーサイド、UCサンディエゴ、UCサンタバーバラ
- UCLA、UCパークリー、UCマーセドレイバーセンターの予算拡大
- UCLAは労働研究(100の専攻)を拡張し、カリフォルニア州立大学で初めての労働研究修士プログラムを開始へ
- レイバーセンターがカリフォルニアの労働運動を支える大きなチャンス

米国・メキシコの連帯



メキシコにレイバーセンター

- メキシコシティとケレタロに3つのレイバーセンターを新たに設立する米国労働省からの**1000万**ドルの補助金
- UCLALейバーセンターとUNAM(メキシコ国立自治大学)の間で初の二国間／二カ国語授業
- パオロ・マリナロ(元UCLALейバーセンター所属)は現在**38名**の職員を率いるソリダリティ・センターのディレクター
- ケンディー・リベラ(元UCLALейバーセンター所属)はティファナで初めてのソリダリティ・センター事務所を設立中

レイバー・サマー2023



学校から運動へのパイプライン

- レイバー・サマー**2023**に向け、UCキャンパス**9**つ全てから学生に呼びかけ
- 組合組織化、労働協約キャンペーン、労働者と学生のアライアンスを構築
- 若年労働者の組織化に重点
- 院生、学生をリクルート
- UC院生ストライキの学びを広めるためのレイバー・サマー**2023**の一部としての特別プログラム

若年移民の運動



若年移民の組織化

- カリフォルニア州立大学が不法移民の学生を雇用することを要求する「皆に機会を」キャンペーン
- **DACA** (若年移民に対する国外強制退去の延期措置)が保守的裁判所により攻撃されている
- アジア、パシフィックアイランダーの不法移民の声を伝える個人発行誌(ZINE)
- 書籍**“ART AND ACTIVISM OF IMMIGRANT YOUTH MOVEMENT(若年移民運動の技巧と活動)”** 出版中
- **ドリーム・サマー2023**

APALA (アジア太平洋系アメリカ人労働者連盟)

- APALAは**2022年8月**、**70名**の越境連帯団でティファナを訪問
- **2022年夏**、対アジア人ヘイトと闘うオンラインワークショップを**5度**開催
- **2023年3月**国際女性の日、APALAはアーリーン・イノウエ(UTLA)とスーザン・ミナト(UNITE HERE #11)を表彰
- ロサンゼルスでAPALA組織化学校を開催 - **2023年5月19-20日**
- 対アジア人への暴力に関するアメリカ教員連盟(AFT)全国バーチャルタウンホールミーティングを**2023年5月**に開催

APALA 大会
2023年8月3-6日
ワシントン州シアトル

